

# 非農家から担い手に、期待の若手



## 地域に信頼され、11<sup>年</sup>で露地野菜

上里町 白須貴裕さん

【埼玉】上里町の白須貴裕さん(43)は、白菜、ネギなど約11畝で露地野菜を栽培している。写真。白須さんは農業が生活

に直結することに魅力を感じ、長野県で経験を積み、2013年に生まれ育った同町で就農した。非農家出身で最初は大変

だったが、持ち前の真摯な姿勢で真面目に野菜を作り続け、いつしか周囲の理解を得て地域の信頼を集める存在となった。「常に感謝の気持ちを持って農業に励んでいる」という白須さん。就農当時、10年以内に5畝まで拡大する目標を掲げていたが、わずか5年で達成した。今では地域の若手農業者として期待される存在だ。

適した白菜の品種を見つげるため、就農時から6〜7品種を栽培し、今でも毎年新たな品種を取り入れて試している。「リスクを減らすためにも一つに絞らず、品種を使い分けている」と話す。このほか、霜対策のための白菜一つ一つの結束作業など、品質が良くおいしい白菜づくりを手間を惜しまない。

現在、3人の従業員を雇用している。日頃から従業員とのコミュニケーションを大切にし、話しやすい雰囲気づくりを心がける。「風通しが良く、従業員同士の距離が近いのが理想」「しっかりと休みを取ることでの体調管理もでき、農業への意識も高められる」と働きやすい環境づくりにも力を入れている。

今後について「面積が拡大していても、丁寧に真心こめて栽培したい」という。農業に真摯に向き合う白須さんの志はブレない。